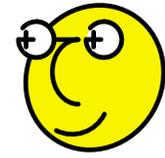




携帯電話用
QRコード

広報 まちだ

2008年 市制50周年



あなどれません。町田

第1551号

発行日 毎月3回1の日
(1日、11日、21日)

市の将来都市像
市民協働のまち
環境先進都市
子育て・保健福祉のまち
商業・文化芸術都市

ごみゼロのまちの実現に向けて

レジ袋 廃止実験 第2段階へ

3月14日から行われているレジ袋の廃止実験で、現在までに、事業者・市民団体・行政が協力して、データ収集やレジ袋の代替品の準備、広報、市民アンケートを実施してきました。

市民提供の紙袋を利用していただきます。そこで、この約4%の対策として、新たに第2段階の実験を行います。

実験内容
マイバッグとして繰り返し使用した後、回収して再度バッグ等に再生できる、環境に優しい「エコブクロ」を、1枚50円の低価格で販売する。買物袋の代替品として、町田市指定収集袋のバラ売り(中サイズののみ)を行う。

ごみ出し 分別作戦 実施します

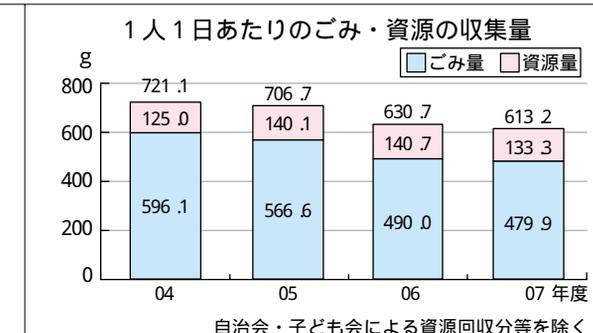
2005年10月にごみの有料化と戸別収集が開始され、ごみの出し方は大きく変わりました。大部分のご家庭でご理解いただいている一方、資源化できるものが混入していたり、ルールの守られていないものも少なくありません。

2005年10月にごみの有料化と戸別収集が開始され、ごみの出し方は大きく変わりました。大部分のご家庭でご理解いただいている一方、資源化できるものが混入していたり、ルールの守られていないものも少なくありません。

そこでこのたび集積所でごみ出し分別作戦を実施します。この取り組みは地域住民の皆さんと市が協働して、ごみの出し方についての呼びかけ



本紙2・3面に特集記事「中期経営計画取り組み状況」を掲載しています。また、本日の新聞には「第2部 長寿医療特集号」が折り込まれています。ご覧下さい。



左のグラフは家庭から排出される1人1日あたりのごみ・資源の収集量のグラフです。2007年度のごみ量は約480gでした。これは鶏の卵約8個分の重さです。

多摩地域30市町村 ごみ・資源量ランキング (2006年度多摩地域ごみ実態調査による)

市名	収集量 (g/人日)	前年度順位
1位 町田市	630.7	13位
2位 八王子市	633.0	1位
3位 東村山市	639.9	2位

皆さんは家庭からどの位ごみが出されているか、ご存じですか? 市では現在、ごみゼロのまちを目指し、ごみの減量と資源化を進めています。そこで、これから5回に分けてごみの現状をお知らせしていきます。

市では「福祉のまちづくり総合推進条例」に基づき、町田市福祉のまちづくり推進協議会を設置し、様々なバリアフリー施策を進めています。「心のバリアフリーハンドブック」は幅広く障がい者理

心のバリアフリーハンドブック 改訂しました

～知的・精神障がいへの理解を追加～



解を解説した入門書です。高齢者、肢体不自由、視覚・聴覚障がい者等との接遇や手助け等に加え、今回の改訂では、知的・精神障がいや、認知症のある方の理解やコミュニケーションについての項目を追加しました。

町田・相模原の両市民が協力して境川の清掃を毎年行っている「境川クリーンアップ作戦」が7月27日に開催されました。当日は両市から市民や関係者など約600人が参加し、上流の境川橋(木曾町)から下流の西田橋(金森)までの約7kmの土手・川底・サイクリングロードなどから約2530kgのごみを回収しました。



来年4月から 犬鑑札・狂犬病予防注射済票が変わります

タテ31 5x ヨコ29 5mm
タテ15x ヨコ30mm

6月に本紙で募集した犬鑑札と狂犬病予防注射済票の新しいデザインについて、ご意見を寄せていただき、ありがとうございました。19人の方からご意見をいただき、多くは「かわいいものを」「もつと小さいものを」といったものでした。これらを参考に、来年度からの様式を決定しました。

問 福祉総務課 ☎724・2133、FAX 724・1187

問 環境保全課 ☎724・2711

問 環境保全課 ☎724・2711

問 環境保全課 ☎724・2711